



音楽運動



日本音楽協議会 〒101-0061 東京都千代田区神田三崎町 3 丁目 10-15 富士ビル 505 号室 発行人 松本敏之
TEL 03-3221-1821 FAX 03-6369-3057 URL <http://nichionkyou.org> Email nichion@yomogi.or.jp



第56回 すべての人々が笑顔になりますように
笑顔笑顔のクリスマス

(トップバッターは、沖音協)



(会場風景)



チャリティー

(なおマリアさんは、職場の仲間と出演)



(歳末助け合いカンパを高校生が呼びかけ)

みんなが笑顔になりますように

明けましておめでとうございます。昨年は、全国の仲間のご協力のもと、沖縄での「はたらくものの音楽祭」を無事開催することが出来ました。本当にありがとうございました。

総選挙で与野党伯仲になりましたが、政府は新基地建設をこれまでと変わることなく強行しています。みんなで、また、やーちゅー（お仕置き）しましょう。本年もよろしくお願いします。

さて、第 16 回笑顔笑顔のクリスマスコンサートを 12 月 15 日（日）にパレットくもじ前クリスマス広場で開催しました。

毎回、沖音協が事務局を担い出演バンドを募集、参加する9団体・個人で実行委員会を結成しました。今回は、那覇市社会福祉協議会が主催者に加わるとともに、那覇市の後援と那覇市職労等が協賛団体となり開催。チャリティーコンサートとして歳末助け合いカンパの呼びかけを、各バンドの入れ替えの時間を利用して、沖縄尚学高校の皆さんや、司会から募金の呼びかけをお願いしました。多くの皆様の協力のもと、今回も成功することができました。ご協力いただいた皆様に感謝申し上げます。にふえーでーびたん。継続は力です。連携する団体が増え、ライングループで情報共有を行いながら実施しました。この音楽ネットワークがあったので、はたらくものの音楽祭も成功しました。今後、平和、福祉、地域のネットワークをつなげ、さらに運動が広がるようにしていけたらと思います。

(沖縄県支部長・平良昌史)

第56回はたらくものの音楽祭
2025年10月18日(土)~19日(日) 長野県千曲市・戸倉創造館

沖縄音楽祭の成功を確認 持続可能な日音協活動を！

日音協は12月7日、東京都豊島区で第61回定期総会を開催しました。代議員、傍聴者、役員など対面とオンラインとあわせて23人が出席しました。

東京都支部の白石信吾さんを議長に選出した後、松本会長は、「第55回はたらくものの音楽祭を、沖縄県支部の仲間たち、沖縄県内の労働組合や友人たち、そして全国の会員の協力で成功させることができた。会計の面では単年度赤字で、来年長野で開催する第56回音楽祭、そしてその後へと持続可能な音楽祭としていくための工夫は引き続き相談していきたい。つくり、うたい、ひろめ、つなぎあう4つの活動の柱として、日音協ソング2024の推薦曲を紹介した、うたい広めてほしい」とあいさつしました。



日音協ソング 2024 推薦曲を SING OUT

金田事務局長が経過と会計決算を報告、磯野監査が会計監査報告、これに対して、12人が発言しました。

【福島】 音楽祭単独の単年度収支赤字とは説明を。福島はNPOライフケア歌声サロンが毎月、3月10日、11日にNo Nukes Fukushimaライブ。原発事故から健康と暮らしを守る会総会でうたい演奏した。

【北海道】 音楽祭の事後アンケートは、QRコードを入れて1週間かけて回収しては。沖縄音楽祭はよかったが、全国交流会でご飯が少なかったのが残念。北海道は1月、6月に合宿。メーデー、ダイイン8月集会でうたっている。7月13日ブービーバンド200歳ライブ。

【沖縄】 全国の協力で音楽祭を成功できたことに感謝。県内の音楽仲間とつながりが深まったことを財産にしたい。

【香川】 毎月練習を定例化して、丸亀駅前座り込み、メーデー、反核平和の火リレー、団結旗開き、選挙の決起集会でうたってきた。

【長野】 来年の音楽祭に向けて話し合っている。

【新潟】 市民向け街頭演奏の機会が増えた。新潟音楽祭でつながった仲間、仲間への参加を呼びかけたが、難しかった。長野に向けては複数の反応がある。自治労音協として音楽祭で演奏するが、前日、当日の練習。長野音楽祭に向けて、自治労長野の音楽仲間の協力を得たい。

【東京】 昨年総会から12月4日まで114回の会議や行動があった。毎月決まった行動として防衛省前、東電前、官邸前、19日行動がありうたう時間がある。11月30日の都支部コンサートには71人来てくれた。メーデー合唱団で11月16日に総会を開き、代々木公園にメーデーの大きなステージがつかれないとして合唱がなくなったことを総括。テント前ミニコンサートは今後とも。

【千葉】 支部コンサートはできなかったが、なのはなユニオンキヤラバン、i女性会議反戦マラソントーク、船橋駅北口などでうたってきた。

【茨城】 月1回練習。春闘集会、メーデー、憲法集会、水戸の地域のお祭でうたい演奏してきた。JCO集会では演奏なし。12月21日に合宿を予定。

【秋田】 9労組の協力・参加で幹事会をしている。音楽祭 in AKITA、食とみどりと水のフェスティバルでうたっている。9労組のうち1組合が脱ける。

【岩手】 6月総会、8月31日合宿。音楽祭 in いわてを洋野町で開催、久慈でうたごえ喫茶をやっている。旗開きでうたがなくなった、労組とのつながりを再構築したい。

【青森】 月1回の例会、1月県支部コンサート、4月反核燃の日全国集会で3曲を演奏。

金田事務局長から「音楽祭会計は繰越と一般会計からの繰入がなければ赤字ということ。音楽祭のアンケートは発言を参考に検討する。第56回音楽祭の全国交流会は中央実行委員会が議論を」と答え、諸報告は承認されました。

休憩をはさんで金田事務局長が活動方針（『音楽運動』12月1日号参照）と予算を提案。これに対して4人が発言しました。

【北海道】 2025年は結成60周年、その意味を込めた運動に。音楽祭は10月開催ということだが、支援いただく労組の会計年度とねじれてしまい、困っている。日音協ソングの予算が2年分ということだが、日音協ソング選考は2026会計年度になるのでは。

【東京】 機関紙を印刷物で送っているのは何部か。音楽祭のスポットライトの基準をはっきりしたほうがいい。東京も会員減、新潟では若い人が入会しているというが、各支部の努力を交流したい。

【茨城】 音楽現場づくり、街頭でも工夫してうたおうというが、道路管理者の許可は。アンプを使うとき、電源はどうするのがいいか。

【長野】 スポットライトなどを長野県支部で話し合っている。全国交流会はホテル清風園で開催し、宿泊朝食とあわせてひとり18000円としたい。全国からぜひ来てほしい。

事務局長が、「60周年は幹事会で議論にならなかった、今後検討したい。音楽祭の日程は長野県内の事情なのでお許しを。日音協ソング選考

(2面からつづく)

は会計年度内になることもあり得るとしての提案。機関紙の郵送部数は贈呈含めて140から150部。道路使用許可は現場によってさまざまで一様ではない。スポットライトは支部推薦をもとに幹事会で決定することにした。全国交流会も含めて音楽祭実行委員会(会)でさらに議論を」と答弁、両議案は賛成多数で提案通り決定しました。

また、役員せんこう委員の磯野友一さん(富山県支部)が、松本会長はじめ全役員再任を提案。賛成多数で提案通り選出しました。

総会の閉会后、引き続き第56回はたらくものの音楽祭中央実行委員会を開催しました。

金田事務局長が中央実行委員会の結成と音楽祭企画書(案)、2025年10月18日、19日に長野県千曲市・戸倉創造館ホールで開催することを提案。長野県支部から準備状況について発言がありました。全国交流集会上では、参加者は全員ホテル清風園に泊まって(参加者が一堂に会して)全国交流会に参加してほしいという長野県支部の強い要請を全体で確認しました。その他、千曲市内の移動について、スポットライトの基準について、日音協ソングの応募締切と音楽祭の日程との関係について、音楽祭と60周年の関係について、討論したうえで、さらに準備を進めることとしました。(松本敏之)

そして、松本会長のあいさつを受け、第61回総会を終了しました。

【新役員(全員再任)】

会長	松本敏之(茨城県支部)
副会長	佐藤康弘(青森県支部)
副会長	坂口美日(東京都支部)
事務局長	金田光弘(茨城県支部)
幹事	細川剛(香川県支部)
幹事	後藤雅裕(秋田県支部)
幹事	竹内崇史(新潟県支部)
幹事	塚本昇(長野県支部)
幹事	根本賢治(千葉県支部)
監査	磯野宏之(北海道支部)
監査	山城文雄(沖縄県支部)

(松本敏之)

日音協セミナーは創作講座3月、ステージスタップ講座5〜6月

12月8日、日音協は幹事会を開催しました。第61回定期総会で宿題に残されたことを引き続き検討すること、幹事会の役割分担を確認。日音協ソング2025のスケジュールは、第56回音楽祭終了日を締め切りとし、郵送の場合は消印有効としました。

日音協セミナー2025は、創作講座を3月1日、2日に東京都小平市・学園坂スタジオで、ステージスタップ講座は5月31日、6月1日に東京都豊島区内で開催することになりました。

日音協Next Stage(若い会員の交流会)は5月または6月に東京または近郊で1泊2日で開催することになりました。(松本敏之)

演奏の現場を求めて



日音協茨城県支部は12月21日、日立市内で第21回総会を開催しました。7人が出席しました。

「5・3憲法集会の合唱で拍手をもらえたね」「県中央メーデーやJCO集会でうたと演奏が続けられるための課題は何だろう」「来年の関東ブロック合宿をどこで開催しようか」などが話されました。

そして、市川信義会長、金田光弘事務局長(いずれも再任)をはじめとする役員を選出しました。

引き続き翌22日にかけて支部合宿をしました。

集合写真を撮り忘れたので、演奏の動画からの写真です。川上さんは撮影中、鳴澤さん顔半分でごめんなさい。

(松本敏之)

数少ない活動ですが…

女性集会で演奏



12月7日、佐賀市メイトプラザイベントホールで開催された「第60回平和と権利を守る佐賀県女性集会」に、日音協九州支部として、前段の歌声を行いました。ステージでは佐賀県アイ女性会議の皆さんと一緒に歌いました。

歌った曲は、「決意」「私は忘れない」「うたおう命の歌を」「戦争に力貸さない」の4曲です。また沖縄音楽祭で歌った「コ罗纳クチン被害者」と「マイナンバークッバイ」も披露し、好評を得ました。

(山田力)

11 月 30 日 (土) 北区滝野川会館小ホールで、「2024 日音協東京都支部コンサート・届けたい私の歌」を開催しました。この日は反原発関連の集会がふたつと、辺野古新基地建設反対の国会前集会が重なっていて、お客様は少ないのではないかと危ぶまれましたが、出演者を含め 73 名が来場。初めてコンサートに来てくださった方も 24 名と、うれしい結果となりました。

初出演の「メーデー合唱団」を含め 8 団体が演奏。日音協会長・副会長ペアの「Piggies」は過去の日音協ソング応募曲から 2 曲を紹介。さすがの演奏です。女声コーラス「ういみん」はひとりひとりの声がよく伸びた演奏で、アンケートでも好評を得ました。

ひとり芝居の「Periodista」は会場からお題をいただく即興芝居。会場の笑いを誘います。

「Rico & Tatsu」では Tatsu の歌が上手くなってきたようだったか？ 男声コーラス「メイウィンズ」はアカペラでの合唱。演奏中に横断幕が剥がれ落ちるアクシデントがありましたが堂々と歌い上げました。「狭石啓子」は高橋円さんのピアノ伴奏で、久しぶりにライフワークともいえる『七まがり恋唄』を披露。胸に沁みる演奏でした。「メーデー合唱団」「都支部」は大人数の迫力ある合唱で、ともに 55 回はたらくものの音楽祭での曲を再演しました。

アンケートの回収も 30 枚。「心に残った曲」の項目には、全団体の曲が入っており、それぞれに力を尽くした感があります。居酒屋に移動しての打ち上げ兼合評会には出演者・スタッフ以外にも 5 人のお客様が加わってくださり、忌憚（きたん）のない意見が交わされました。これが活力のみなもと。明日からもがんばるぞー！

(森 理子)

都支部コンサートに73人



都支部



メイウィンズ



ういみん



Rico & Tatsu



Piggies



メーデー合唱団



Periodista



佐藤順さん (司会)



狭石啓子



常盤さん (右) と岩野さん (音響/照明)

水道橋 だより

▼2024年、ご苦労様でした。そして2025年、よろしくお願いいたします。▼沖縄音楽祭から長野音楽祭へ。現地長野県支部は精力的に準備を進めています。24年前の長野音楽祭の時のように、参加者が一堂に会した全国交流会を企画しています。会費5000円を含めた18000円の宿代。決して安くはありませんが、豪華なホテルを貸し切ります。ご理解をお願いします。(佐藤)

▼2024 日音協ソング推薦曲決定▼心文一知覧の空一(詩・曲=塚本茂子)▼No No War(詩・曲=桑野功)▼半径三メートル(詩・曲=塚本茂子)▼応募曲集は届いていますか。下記写真は、総会において、推薦曲の紹介をする選考メンバーです。(佐藤)



歌の力が物語るもの137

葉英坂つた行動 12/6(528回) 報告 Rico

【参加者】かおるさん、スーさん、守屋さん、イサさん、ゆきさん、周平さん、鈴木さん、達哉さん、森 計9名

横断幕やらライトやらの準備に手間取っていたら、スーさんが先に歌いはじめた。『明日がある』の替え歌で、『明日

がない 原発にや明日はない』と歌う。まだ国会周辺が賑やかだったところに誰かが持ち込んだ歌。あの頃は通りすがりで『これを歌って』と持ち込まれたり、1曲歌わせてと歌っていったりがあたりまえみたいにあった。スーさん情報では『明日がない』は集会参加の高齢の女性が吟いて

いたのを、歌詞にしたとか。同じメロディで今度は『辺野古へ行こう』を歌った。これは辺野古のゲート前歌集に載っている。現地で歌っているひとが創った替え歌。『辺野古へ行こう 新基地阻止しよう』と歌う。

スーさんの『怒りのこぶしをあげよう』をリクエストした。新しい時事の歌詞がどんどんできていて、周りは『おー!』と合いの手を入れている。その歌詞にもなっているGX法の話になった。岸田元首相の置き土産。あの人は、しれっと色んなひどいことを決めていった。原発は建設から40年まで稼働、例外的延長

で60年といっていたが、停止期間は算入しないのだと。ひどい理屈だ。動かさなくても劣化は進むのに、時が止まるとても言うのか。そしてその法はいまだ継続している。スーさんの怒りのこぶしは上がりっぱなし。

『私たちの暮らしは私たちが決める』。余分な電気を使いすぎだ。無駄遣いの例で都庁のプロジェクトシヨンプンピングが出た。何億もの金が無用な飾りに費やしているその下に、炊き出しに並ぶ人の列があるのだ。

『水に流すな』を歌って、本当に恥ずかしいよね、世界に恥ずかしいよね、と言ったらゆきさんが『未来に恥ずかしい』と。そこで『恥ずかしいくない世界を作ろうよ』と歌う『原発なくたって』。歌はどんどんつながっていく。

今日の周平さんはまた新しい楽器を持参。『アンデス』という、見た目は幅広ピアノ。鍵盤があるのに笛の音が出る。アンデスとスライドホイッスルでかわるがわる笛の音をひびかせている。元気なうちに、『DO! 廃炉』。20日の原発いらない金曜行動ではこれを歌う予定。テンポはパカッパカッの、馬の駆け足くらいと確認。『止めろ止めろ』から速くなりがちだねと注意して歌いはじめた。私たち、ちゃんと上手くなっている。清美さんのリクエストで、久しぶりに『ああ福島』も歌った。達哉が沖縄をリクエスト。『ジュゴンがすむ海』『沖縄に基地はNO! NO! NO!』。米軍基地も嫌だけど、自衛隊基地が増えていくのも恐ろしい。石垣島は住民投票を行うところまでがんばったのに、握り潰されてしまった。この国の法律は優先すべきものが違う。だから『私たちは許さない』に力がこもる。最後の一曲は韓国を歌いたい、発令された戒厳令に、立ち上がった人々に連帯。共通で知っている歌がなくて、『声よ集まれ歌となれ』を歌った。闘うひとたちが切り離されないように、連帯はちゃんと示していこう。

どん行

(186)

飯島貞親

るものにする努力、これが政治の責任であることを政治家は自覚すべきだと思うのだが。

▼10月27日に投票のあった衆院選は与党のボロ負けに終わった。「政治とカネ」問題からすればもっと野党の増加が欲しかった▼以前から「高齢者は投票に行くが若者は行かない」と指摘されている。したがって高齢者に有利な政策が優先させられる。いわゆる「シルバー民主主義」と呼ばれ高齢者優遇の政治により必要な改革が阻止される現象と見られている。日本では、社会保障費の増大等で財政は悪化の一途を辿り、若者の将来不安を助長していると指摘されている▼今回の選挙は高い社会保障料に苦しむ現役世代を救うと強調した論調が現れた。若者が注目するであろう「ジェンダー平等」「子育て支援」「経済・景気対策」と並べて選挙に参加させた▼若者は破綻している社会制度が続くといつか共倒れするのではないかと不安に思っている。「最近の若者は冷たい」と言われるが、本当にそうなのだろうか。日本の将来を担う若者の先行き不安を払拭するためには、雇用を安定したものに充実させ今後の社会保障制度を明確に示す必要がある▼安い労働力を追い求める経営者の意見を優先することなく、若者の将来を魅力あるものにする努力、これが政治の責任であることを政治家は自覚すべきだと思うのだが。